

F M局の方のお話

こんにちは、ぼくは、F M西東京でチーフディレクターとアナウンサーをしている大塚まことです。今日は、ラジオについてお話します。

■ラジオとテレビの違いーラジオは言葉で説明するー

皆さん、ラジオとテレビの違いは何かわかりますか。

ラジオ番組は、まず自己紹介から始まります。それは名前を言わないと、誰が話しているかわからないからです。それがテレビとラジオの違いです。また、たとえば「笑顔」を視聴者に伝えたい時、テレビは「笑顔」を映像で映せば言葉で説明する必要がありませんが、ラジオでは、たくさんの言葉を使って笑顔を説明します。

■「言いたいことを伝えるため」に気をつけること

皆さんは、自分の言いたいことを人に伝える時、どんなことに気をつけますか。

ラジオでは、「ゆっくりわかりやすく話すこと」や、「皆にわかる言葉で話すこと」が必要です。その他にも「一つの文章は、なるべく短く話すこと」や、「聞き手をイメージして話すこと」、感想を話すときは「どう感じたのか具体的に説明すること」が必要です。

「心をこめて話すこと」や「一番伝えたいことは何かを考えて話す」ことも重要です。皆さんは「お勧めの本を紹介するラジオ番組」を作るそうですが、まず、何を一番伝えたいか考え、たとえば「泣けるぐらい感動した本」ということを一番伝えたいならば、それを皆にわかってもらうことを目指して、どんなお話を説明するとよいでしょう。

■放送局には責任がある

放送は誰でもできるわけではありません。テレビもラジオも、国から免許をもらって放送をしています。自動車免許をもらった人が、安全に運転をする責任があるように、放送局にも責任があります。放送はたくさんの人が聞いていますから、その人たちに役立つように、正確に情報を伝えなければいけません。また、放送が誰かを傷つけないように、注意する必要もあります。私たち放送局は、そのためにいろいろ準備をして放送をしています。

■放送には制作者の意図がある

ラジオやテレビでは、いろんな人が考えて番組を作っています。でも、作られた番組はひとつの考え方です。世の中には、番組とは違う考え方を持っている人もいます。ですから、皆さんも番組を鵜呑みにしないで、自分はどう思うか考えながら、放送を聞いてほしいと思います。